

第9回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず<企画シート作成上の注意>をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) アイチダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) タメヒロゼミナール
愛知大学	経営学部	為廣ゼミナール

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ) アカアカ	フリガナ) オガワシンイチロウ	5人
アカアカ	小川真一郎	

研究テーマ（発表タイトル）

空港コンセッションを進めるには

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在、空港のコンセッションが日本国内では **18%しか進んでいない**。しかし、コンセッションは公民双方にメリットがあり、推進していくべきであると考え。そこで本研究では、コンセッションが進まない原因を明らかにし、改善策を提案することでコンセッション推進を図る。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

1990年代に、イギリスで始まったのを皮切りに、世界で空港の民営化が進んでいる。日本においては、2011年にPFI法が改正され、手法の1つであるコンセッションを用いての民営化が可能となった。他国での民営化の進み具合とは対照的に、日本国内においてはコンセッションがあまり進んでいない。しかしコンセッションという制度は**公共と民間双方にメリットがある**ため推進していく必要がある。

3. 研究テーマの課題

空港を運営している公共、コンセッションを実際に行っている民間に、コンセッションのプロセスに問題があると思うかヒアリングした結果、公募後のプロセスは問題視していないことが分かった。そこで公募前のプロセスに問題があるのではないかと仮定し、なぜ公募に至らないのかをヒアリングした。その結果、公共側はコンセッションで公募しても応募する民間がいなくて考えているため公募を行わない。民間側はコンセッションが可能であると考えているが、その意欲が公共側に伝わっていないことが問題であることが判明した。以上の結果より、**公民で公募前に意識のずれがある**ことが分かった。これは公募の前段階において、公共側がコンセッションの導入を検討する事業の発案段階に欠陥があるといえる。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

コンセッションを進めるためには、公民で公募前に意識のずれがある状態を解決する必要がある。現在のコンセッションには、事業の発案段階で公民のずれを解消する仕組みが存在しない。よって、**公民が事業の発案段階で対話できる仕組み**を作ること

よって、公民の意識のずれを解消し、コンセッションの推進を図る。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

まず、コンセッションのプロセスに問題があるかを知るために、静岡県文化・観光部空港政策課と、コンセッション事業の選定に応募した民間企業 11 社に面談・メールにてヒアリングを実施した。その結果、双方公募後のプロセスに問題意識はないことが分かった。そのため公募前のプロセスに問題があるのではないかと仮定した。

そして、なぜ公募に至らないかを調べるために、42 空港管理自治体と、コンセッション事業の選定に応募した民間企業 11 社に面談・メールにてヒアリングを実施した。その結果、公共側は空港の運営状況などから民間企業が応募してこないと考え、コンセッションが難しいと主張していること、民間側は公共が問題視している部分を民間企業が運営することにより改善可能であると考え、コンセッションができると主張していることが分かった。

6. 結果や今後の取り組み

私たちは公民が対話することにより、コンセッションが進むと考えている。そのため公民が対話のできる仕組みを提案する。

今後の取り組みとしては、私たちの提案する仕組みについて公共側として静岡県文化・観光部空港政策課と 42 空港管理自治体に、民間側としてコンセッション事業選定に応募した 11 社にヒアリングをする。そしてその仕組みの実現可能性を探り、具体的な提案に結び付ける。

7. 参考文献

石田哲也・野村宗訓（2014）『**公民連携による交通インフラ改革**』同文館出版

山内弘隆（2014）『**運輸・交通インフラと民力活用**』慶應義塾大学出版会

OECD（2014）『**公民パートナーシップ PPP・PFI プロジェクトの成功と財政負担**』明石書店

日本経済新聞 2018.08.17 『**北海道の空、4 陣営争奪、7 空港民営化、三菱地所など応札、「ドル箱」新千歳に的**』
内閣府 「**公共施設等運営権の導入メリット**」

http://www8.cao.go.jp/pfi/concession/pdf/con_merit.pdf(2018.10.05 閲覧)

内閣府 「**コンセッション方式**」http://www8.cao.go.jp/pfi/concession/pdf/con_houshiki.pdf(2018.10.05 閲覧)

大和総研 「**世界の空港民営化の動き**」<http://www.mlit.go.jp/common/000134690.pdf>(2018.06.05 閲覧)

仙台国際空港株式会社 会社概要 <https://www.sendai-airport.co.jp/company/profile/>(2018.10.30 閲覧)

三井物産戦略研究所 「**空港サービス産業の世界動向**」

https://www.mitsui.com/mgssi/ja/report/detail/_icsFiles/afiedfile/2016/10/20/160428x_kurihara.pdf (2018.05.28 閲覧)

日本交通政策研究会 「**国内空港民営化の動向と課題 英国のヒースロー空港民営化との比較から**」

<http://www.nikkoken.or.jp/pdf/symposium/JRCTP20180131.pdf>(2018.06.13 閲覧)

九州 PPP センター 「**アニュアルレポート 2018**」https://kpppc.com/data/annual/annual_report.pdf(2018.11.01 閲覧)

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

無

●発表時に使用する成果物（例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

無

【企画シート作成上の注意】 ※「第9回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただきます。
- ・電話番号や住所などの個人情報記載しないでください。